

# ふれあい中須

平成20年  
8月15日号

編集発行  
中須をよりよくする会  
中須公民館



## 御田頭祭揉山

七月二十六日(土)、豊作を願って御田頭祭がとり行われました。

今年は、白樺・朴・市・臥月・清溪・東峰・中学校の七つの山が繰出されました。



中須のまちに、太鼓や笛の音、元気な掛け声が響きわたり、揉山も勢いよく高く放りあげられ、すぐ側で見ている人たちも圧倒されるほどでした。



特に、中須交差点では七つの山が一斉にそれぞれ豪快に放り上げられたり、太鼓にあわせて激しく回った

り、まさに勇壮な揉山でした。その後、一列で八幡宮へ向かっている山を見わたすことができ、国道からの眺めは、大変すばらしく、幻想的で美しいすてきな光景でした。

今まで長い間続いてきた伝統あるこの祭り、これから先もずっと守り続けていきたいものですね。

## 有馬和伸さん表彰される

平成二十年六月二十四日、有馬和伸さん(新杉山)が、食品衛生団体の指導者として、自主的な衛生向上に尽くされた功績を称えられ、山口県南環境保健所長より表彰されました。

おめでとうございます。今後の益々のご活躍を期待しています。



おめでとうございます。

## なかず再発見!

「やげん谷一里塚の巻」



今回の再発見は、『やげん谷一里塚』です。国道376号線沿いにある標柱から400メートル程山道を登ったところに一里塚はありました。円錐台形状に土が盛られ、塚の周囲は、花崗岩の石組で覆われています。塚の前には、石碑があり、そこには、『小郡津市から16里20町 高森より3里』と記されています。小郡と高森を結ぶ山間の道(約7.7km)に20ヶ所一里塚は作られました。『やげん谷一里塚』は、高森側から4番目になるのだそうです。

そもそも一里塚は、江戸時代、1604年(慶長9年)、時の將軍徳川家康が全国の街道に「一里塚」を作るように命じたもの。一里(約4km)ごとに目印となるよう松や榎などの丈夫な木を植え、行程の目安、木陰による休息

の場になるようはかったものなのだそうです。この『やげん谷一里塚』も江戸時代に作られ、松の木が植えられていたようですが、残念ながら現在は枯れてしまっておりません。ただ、道路の拡張や整備などにより他の一里塚が姿を消すなか、ほぼ当時のままの姿で残っているのは大変珍しく、周南市文化財にも指定されています。

この塚に腰かければらく目を閉じていると、仕事を終え故郷を目指す旅人が、私と同じようにこの場所に腰かけ、そして、微笑んでいる姿が頭の中に浮かんできました。「首を長くして帰りを待っている愛する家族がいる故郷まであと少し。」といったことでしょうか。

さて、今日は寄り道せずに真っ直ぐ家に帰るとするかな...。(写真・文 公民館主事 福田)

## 8月・9月の行事予定

日時	内容	場所	備考
8月14日(木)	中須地区追悼盆踊り大会	総合運動場	社会福祉協議会
8月27日(水)	移動図書館 やまびこ号	中須支所	
9月13日(土)	敬老会	中須小学校講堂	社会福祉協議会
9月13日(土)	移動図書館 やまびこ号	中須支所	
9月14日(日)	小中学校合同運動会	中須中学校	



夏休み子ども教室  
8月8日(金)  
魚切の滝・大田原自然の家  
「楽しい思い出できたかな?」

## 中須の人口 8月1日現在

	8月1日現在	前月比
男	433人	(-1人)
女	513人	(+1人)
総人口	946人	(±0人)
世帯数	430世帯	(±0世帯)
高齢化率	42.9%	

## ちょっとひとこと

夏も本番を迎え「猛暑」とはこの事だと実感する毎日です。夏休みといえは...

新しい朝が来た...

ラジオ体操です。

昔は夏休みになるとラジオ体操の音楽をあちらこちらで耳にしていました。最近では、児童数の減少と共に耳にすることも少なくなりまして、自宅で体操をする子が多くなっています。

うれしい事に私の家には、7名の子もたちが集まり、元気に体操をしています。「おはよう」の声が大きい時も小さい時もありますが、音楽が始まると元気に体を動かしています。

夏休みも残り少なくなりまして、私も早起きして体操に参加しようと思います。

それ 一、二、三

中須小学校PTA会長  
松永 敏孝

